

一般社団法人箕面市農業公社経営計画（改訂版）の概要

1. 事業

- ①農地の保全に関する事業
- ②箕面産食材の流通、販売、消費に関する事業
- ③学校給食物資の供給に関する事業
- ④その他目的達成に必要な事業

2. めざす姿

- ①“担い手がない農地”を耕作する。箕面市農業委員会との連携のもと、遊休農地の完全解消をめざす。
- ②箕面産野菜の流通、販売等を担い、その確実な販路を確保することで農業を振興する。遊休農地の新規発生ゼロをめざす。
- ③耕作だけで収支均衡の経営をめざす。
- ④次代の農業者を育成する。営農が困難な農地の担い手として輩出する。

3. 長期耕作収支展望

耕作により収入で耕作に必要な経費を賄いきれる黒字化ポイント（最低採算ライン）

- ①耕作面積：6ha
- ②常勤耕作者雇用人数：3人
- ③耕作による収入： 23,040千円
- ④耕作による支出： 22,160千円
- ⑤収支予測： 880千円/年の黒字

4. 今後の経営見通し

（単位：千円）

目標年次	H27.4	H28.4	H29.4	H30.4	H31.4
耕作面積(ha)	2.5	3.5	4.5	5.0	6.0
耕作者数(人)	2	2	2	3	3
収入	9,821	13,750	17,679	19,643	23,572
支出	14,079	15,997	17,915	21,624	23,542
収支差	-4,257	-2,246	-236	-1,980	31

5. 行動計画

- ①耕作面積の拡大（借受契約の長期化等）
- ②高効率作物の生産
- ③生産効率向上をめざした機械化
- ④経費の節減
- ⑤補助金の確保（国・府）等

6. 経営状況の検証と次年度の目標設定

めざすべきは「黒字化の実現＝耕作だけで収支均衡」。

毎年検証し、次年度の改善項目と目標を定め、具体的な行動に移していく。